

# 検査に影響のある薬剤について (1/2)

項目名	高濃度に存在すると影響のある薬剤名	高濃度に存在すると影響のある物質名	影響を与える要因
尿蛋白質	フェナゾピリジン	塩化アンモニウム ビリルビン クレアチニン ヘモグロビン 尿素 ウロビリノーゲン	ポリビニルピロリドン輸液後、採尿容器に消毒剤(第4級アンモニウム、クロルヘキシジン)や洗剤が残存する場合に偽陽性となる
尿糖	アモキシシリン アスコルビン酸 レボドパ	尿素 ウロビリノーゲン	採尿容器に過酸化物を含有している洗浄剤やほかの酸性化洗剤が残存している場合に偽陽性となる  ※尿中に高濃度のアスコルビン酸(～750mg/L)が存在する場合でもブドウ糖100mg/dL以上の濃度では偽陰性を示すことはほとんどありません。
尿潜血	アモキシシリン アスコルビン酸 ガバペンチン イブプロフェン	ウロビリノーゲン	採尿容器に過酸化物を含有している洗浄剤やほかの酸性化洗剤が残存している場合に偽陽性となる  尿保存剤のホルマリンを使用した場合に反応が阻害され偽陰性となることがあります。
中性脂肪(TG)		ヘモグロビン ビリルビン アスコルビン酸	
総コレステロール	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。	ビリルビン ヘモグロビン 乳び	N-アセチルシステイン及びアセトアミノフェンの代謝物であるN-アセチル-p-ベンゾキノニンイミンは測定結果に負の影響を与える場合があります。メタミゾールは測定結果に負の影響を与える場合があります。
HDLコレステロール	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。  (治療濃度域におけるスタチン、フィブラートは測定に与える影響はありません。)	ビリルビン ヘモグロビン 乳び 中性脂肪 アスコルビン酸	遊離脂肪酸および変性蛋白質の濃度上昇は測定結果に正の影響を与える場合があります。  N-アセチルシステインは450mg/Lまで測定に与える影響はありませんが、N-アセチルシステイン及びアセトアミノフェンの代謝物であるN-アセチル-p-ベンゾキノニンイミンは測定結果に負の影響を与える場合があります。メタミゾールは測定結果に負の影響を与える場合があります。
LDLコレステロール	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。  (治療濃度域におけるニコチン酸、スタチン、フィブラートは測定に与える影響はありません。)	ビリルビン ヘモグロビン 乳び HDLコレステロール VLDLコレステロール 中性脂肪(カイロミクロン) アスコルビン酸	N-アセチルシステイン及びアセトアミノフェンの代謝物であるN-アセチル-p-ベンゾキノニンイミンは測定結果に負の影響を与える場合があります。メタミゾールは測定結果に負の影響を与える場合があります。  EDTA血漿の試料は血清に比較して測定結果が低値となることがあります。
HbA1c	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。	ビリルビン 乳び グルコース リウマチ因子	ヘモグロビン変異体を持つ場合は結果の解釈に注意が必要です。  赤血球寿命が短縮している場合(溶血性貧血、その他の溶血性疾患、ホモ接合鎌状赤血球形質、妊娠、慢性的な失血など)、グルコースへの赤血球の接触が減少するため測定値が低下します。  糖化HbF(胎児ヘモグロビン)は本法では測定されませんのでHbFが7%を超える高値の場合、期待される数値より低い結果となることがあります。
AST		ビリルビン アスコルビン酸	溶血した検体は測定結果に正の影響を与えることがあります(赤血球中には多くのASTが含まれているため)

# 検査に影響のある薬剤について (2/2)

項目名	高濃度に存在すると影響のある薬剤名	高濃度に存在すると影響のある物質名	影響を与える要因
ALT		ビリルビン アスコルビン酸	溶血した検体は測定結果に正の影響を与えることがあります(赤血球中には多くのALTが含まれているため)
GGT	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。	ビリルビン ヘモグロビン 乳び	
尿素窒素	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。	ビリルビン ヘモグロビン 乳び	アンモニウムイオンは測定結果に正の影響を与えることがあります。
クレアチニン	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。  ※治療濃度域のN-エチルグリシンと1mmol/L以上のDL-プロリンは測定結果に正の影響を与えることがあります。 ※治療濃度域のエタミル酸塩は測定結果に負の影響を与えることがあります。 ※治療濃度域の2-フェニル-1,3-インダンジオン(フェニンジオン)は測定を阻害します。	ビリルビン ヘモグロビン 乳び アスコルビン酸 クレアチン	リファンピシン、レボドパ、ドベシル酸カルシウム、メチルドパは測定結果に負の影響を与えることがあります。 HbF(胎児ヘモグロビン)値が600mg/dL以上の人から採取した溶血検体は誤った測定結果が得られることがあります。 33.3mg/dLを超えるN-アセチルシステインおよびN-アセチル-p-ベンゾキノニイミンは測定結果に負の影響を与える場合があります。 メタミゾールは測定結果に負の影響を与える場合があります。
尿酸	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。  ※ドベシル酸カルシウムは測定結果に負の影響を与えることがあります。 ※治療濃度域のエタミル酸塩は測定結果に負の影響を与えることがあります。 ※治療濃度域のN-アセチルシステイン及びアセトアミノフェンの代謝物であるN-アセチル-p-ベンゾキノニイミンは測定結果に負の影響を与えることがあります。	ビリルビン ヘモグロビン 乳び アスコルビン酸	ウリカーゼおよびその他のプリン誘導体は測定結果に影響を与えることがあります。 メタミゾールは測定結果に負の影響を与える場合があります。
総蛋白	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。	ビリルビン ヘモグロビン 乳び デキストラン	
アルブミン	高用量のペニシリンGが投与された場合、低値となることがあります。 (感染性心内膜炎の治療など)	ビリルビン ヘモグロビン アスコルビン酸	
血清鉄	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。	ビリルビン ヘモグロビン 乳び アスコルビン酸	溶血した検体は測定結果に正の影響を与えることがあります。 鉄サプリメントまたは金属結合薬を服用した場合、測定結果に負の影響を与えることがあります。
UIBC	一般的な薬剤の治療濃度域では測定に与える影響はありません。  ※オキシテトラサイクリンは測定結果に正の影響を与えることがあります。	ビリルビン ヘモグロビン 乳び アルブミン	EDTA、シュウ酸塩、クエン酸塩を添加した血漿は使用しないでください 高濃度のアルブミンは測定結果に負の影響を与えることがあります。 鉄サプリメントまたは金属結合薬を服用した場合、測定結果に負の影響を与えることがあります。